

## 第2回 秩父別町教育委員会定例会会議録

会 期 平成30年5月31日  
平成30年5月31日  
(会議日数 1日間)

## 議事日程及び順序

- 1 開会宣言 午後 4 時 01 分
- 2 開議宣告
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 前回会議録の承認
- 5 報告事項
- 6 承認事項
- 7 議案審議
- 8 協議案審議
- 9 閉議宣告 午後 4 時 56 分

記録 別紙のとおり

上記会議の次第を記載し、その適正であることを承認し署名する。

平成 30 年 8 月 20 日

会議録署名委員 梅澤 大観

## 第2回 秩父別町教育委員会定例会会議録

平成30年5月31日（木曜日） 午後4時01分

秩父別町教育委員会に召集

出席 委 員 4名

梅 澤 大 観

南 洋 子

田 丸 政 彦

宮 本 こずえ

教育長 小 林 宏 明

委員、教育長及び傍聴人を除く外議場に出席した者

教育課長 笹 木 雄 介

主幹 川 尻 智 志

主幹 大 山 達 美

主査 川 端 恵美子

会議録を作成する職員

主査 川 端 恵美子

午後4時01分 開会宣言（小林教育長）

時間になりましたので第2回教育委員会定例会を開会いたします。

最初に私の方からお話ししたいことがございます。今回資料があります。まず、そちらの方からお話をさせていただきたいと思っております。委員の皆様におかれましては、お忙しい中重要案件をご審議いただくためお集まりいただきありがとうございます。

まず始めに、先週の21日に中学校第71回体育大会が開催されました。少し風が強くて気温が低かったのですがけれども、大会のスローガンであります「勇往邁進」な29名の生徒たちが心を一つにして、一つの目標に向かって参加するたくましい姿が随所に見られ大変感激いたしました。これもひとえに校長先生を中心に先生方が一丸となって生徒たちの指導をしていただいたことと受け止めております。応援に駆け付けてくださいました委員の皆様ありがとうございます。なお、小学校の運動会につきましては6月3日日曜日になっておりますので、こちらの方もよろしくお願ひしたいと思います。

次に全国学力学習状況調査についてですけれども、4月17日火曜日、小学校6年生と中学校3年生がすでに実施いたしました。教科は小学校が国語、算数、理科、それから中学校が国語、数学、理科の3教科になっています。その後ですね、小学校、中学校で自主採点ということで点数を付けるのですがけれども、その結果についてお手元の別紙資料1というペーパーを付けております。こちらの方をご覧になってください。国から正式な調査結果提供については7月末になるのですがけれども、このように学校の方でまず自己採点します。それを見ていただいておりますけれども、かなり小学校、中学校含めて点数が高い、正解正答率が高いと思っておりますので、このことで小学校、中学校も今年度は全国平均、全道平均を上回るのではないかなということで期待をしているところです。これについて後で詳しくお話しをしたいと思っておりますけれども、実は協議案3のところがありまして、その中に実は本町における結果公表ということについて若干お諮りをしたいなと考えております。ま、その資料なので後でまたお諮りいたします。

次にですね、学校における働き方改革についてであります。資料ですね、「学校における働き方改革北海道アクションプラン」がありますね。1ページ目ですね、真ん中あたりに書いてあるのですがけれども国の動きですね。平成29年6月に働き方改革に関する総合的な方策というですね中教審へ諮問、それから同じ年の12月に緊急対策が発出されております。それで、それを受けまして道教委ですけども、その1ページにある四角、点線に囲まれた部分でありますけれども、そこをご覧になってください。平成28年度に教育職員の時間外勤務等に係わる実態調査をやっております。

その結果ですね、その枠内に書いてあるのですけれども1週間当たりの勤務時間が60時間を超える割合が小学校教諭は2割超え、中学校が4割超え、それから教頭に至っては小・中学校で7割超えというような数字が出て大変大きな課題になっているということが明らかになりました。で、この状況を踏まえまして道教委では「学校における働き方改革の北海道アクションプラン」を作成し、これが平成30年3月28日付けで通知が出されました。で、この中身なのですけれども、その次のページを開いていただいて、具体的な部分で大きな柱四つがあります。アクション1、アクション2、アクション3、アクション4という四つの柱があって、こういったものを道の方から提出されたわけです。細かいことはお話ししませんが、そういった話が高くなっているということを押さえていただきたいと思います。

次に2ページの方を戻っていただきまして、そこにですね、4教育委員会及び学校の役割がありまして、その中の(2)ですね。(2)に市町村教育委員会の役割とございます。ここが本町として実施することが書かれている部分なのですけれど2点あります。一つは学校における働き方改革を進めるための計画等を作成してくださいといったことが一つ。もう一つは地域、本町の実情に応じた取組を主体的に実施すること、実施してほしいといった中身二つです。それが記されております。次に、このアクションプランの目標と時期なのですけれども、その下の5に書いてあります。1週間当たりの勤務時間が60時間を超えるという先程お話しした、そういった教員の割合をゼロにしてください。そして、その目標を達成する期間は平成32年度までということで、今年を入れるとちょうど3年間で作るようにしてくださいというものでした。それで、こういった道のアクションプランを受けまして、本町としてはということで学校現場の業務改善に向けた取組として、まずは現状把握といったことでいろいろ話を聞いてみたいなど思っているのですけれども、例えば今考えているのはですね、教員等を構成メンバーとする秩父別町学校業務改善ワーキンググループ(仮称)を立ち上げまして数回ですね話を聞きながら改善をどうやってですね、そういった改善をしたらよいかということですね調べていきたいなと思います。それを受けて指針を出したいなと思っていますし、その指針というのがですね、これはイメージの一つで素案の素案なのですけれども、このようなアクションプランを受けてさっきの四つの柱、何らかの柱があってそれに向けて何ができますか書いたのですけれども実際はですね、先生方と話をしながらこんなようなものを作りたいなということでイメージをしてもらうために作ったものです。ま、こんなものを作りたいということで、町として作りたいなと。これを受けてですね、あとですね、道教委が作成したリーフレット等がありますので配付しながら確認していきたくて考えております。そのあたりちょっとずつ委員の皆様

ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

それから次にですね、今度はちょっと資料がありませんけれども屋外遊戯施設キュービックコネクションについてです。現在屋外遊戯施設について、オープンセレモニーに向けて7月5日木曜日を予定しているのですが、これにつきましては委員の皆さんに6月案内あるかと思いますので出席の方をよろしくをお願いしたいと思います。

それから次にですね、綾川町の交流事業ですけれども前にお話ししたのですが、今年度は綾川町の子ども達が7月24日に来町することになっております。その際ですね歓送迎会が予定されておりますので、そちらの方の出席もよろしくお願いたします。**【個人情報のため一部省略】**

今回の議案は、いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱を始め1件の承認案と議案3件を上程しております。よろしく審議いただきますよう申し上げ開会にあたっての挨拶といたします。どうぞよろしくお願いたします。

**(日程番号 1番 会議録署名委員の指名について)**

1番 梅澤委員を指名

**(日程番号 2番 前回会議録の承認について)**

4番 宮本委員から承認する旨意見が出された。

**(日程番号 3番 報告事項)**

1 町内校長会 小林教育長から報告

5月の定例校長会議は学校閉庁日の設定について協議いたしました。教職第1547号平成30年3月28日付け道立学校における学校閉庁日の設定について通知がありました。元々は道立学校を対象としたものを、道立学校に準じた取組を検討し、実情に応じて所管する小・中学校での設定をお願いするという趣旨のものであります。この学校閉庁日の設定につきましては、先程のアクションプランの四つのアクションを回しましたけれど、この3番目のアクションの一つになっております。結論から申し上げますと8月15日前後の週休日及び祝日以外の特定の3日間、本年度は8月13日月曜日から15日水曜日に設定するという事で確認をいたしました。学校閉庁日の設定により職員が休養を取りやすい環境整備を促進させ心身の健康保持につながることを期待しています。町内校長会については以上であります。

## 2 教育長会議等 笹木教育課長から別紙により報告

### 3 町議会関係 笹木教育課長から報告

4月27日開催の第2回町議会臨時会について報告いたします。

町長からの行政報告では、インバウンド観光推進のための臨時職員1名を採用し4月11日に着任した旨の報告がなされました。氏名は、「ペミカカンチャノータイ」さんという女性で、タイの大学の日本語学科を卒業後、日本での留学や観光ガイドを務めるなど日本語と英語が堪能な方であり、来年3月末までの任期の間本町及び北空知などの観光情報のSNSを活用するなどして発信いただき、外国人観光客が本町に沢山来町いただけるよう期待しているとのことでした。

二つ目は、寄付採納に関するもので、深川市の島田サト様の妹の鈴木ヒデ様が代理として来庁され、10万円のご寄付をいただいたというものでした。島田様は町のグループハウス「らいふ」に10年間生活され、そのお世話になったお礼にということでご寄付されたとのことでした。

議案は全部で2件で、1件目は物品購入契約の締結として「秩父別町保養研修施設送迎用中型バス」を購入したものと、平成30年度の一般会計補正予算の提案であり全議案が可決されております。

次に5月15日開催の第3回町議会臨時会について報告いたします。

議案は全部で2件で、秩父別町税条例の一部を改正する条例の設定とベルパークちっぷべつ屋外遊戯場建設工事の請負契約変更の提案があり、それぞれが可決されております。

以上、議会関係の報告とさせていただきます。

(小林教育長) ご質問ございますか。

— 声なし —

### 4 その他

#### (1) 行事関係について 笹木教育課長から別紙により報告

#### (日程番号 4番 承認第4号)

専決処分の承認を求めることについて〔秩父別町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について〕

事務局より、別紙内容の説明があり承認を得た。

#### ○小林教育長

ただ今説明がありました本件は専決事項でありますので、委員の皆様から

ご意見がなければ承認をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

— 「ありません」の声 —

○小林教育長

はい、ということでありがとうございます。

(日程番号 5番 議案第12号 秩父別町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則の設定について)

事務局より、規則の改正理由を説明し可決された。

○小林教育長

説明がございました。ご意見ご質問等がありましたらお願いいたします。いかがですか。

— 「ありません」の声 —

(小林教育長) では、議案第12号は可決することにいたします。

(日程番号 6番 議案第13号 秩父別町「ベルパークちっぷべつ」設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の設定について)

事務局より、規則の改正理由を説明し可決された。

○小林教育長

ただ今説明がございました。まず、ご意見ご質問等がありましたらお願いいたします。

— 「ありません」の声 —

○小林教育長

はい、無いということなので議案第13号を可決といたします。

(日程番号 7番 訓令第7号 秩父別町キャンプ用品貸出要綱の制定について)

事務局より、要綱の制定理由を説明し可決された。

○小林教育長

説明がございました。まず、ご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

— 「ありません」の声 —

○小林教育長

無ければ、訓令第7号を可決することにご異議はございませんか。

— 声なし —

○小林教育長

はい。ご異議がないということで訓令第7号は可決といたします。



(日程番号 8番 議案第14号 平成30年度教育関係予算の補正要求について)

事務局より、予算の補正理由を説明し可決された。

○小林教育長

はい、説明が終了しました。最初にご意見ご質問ありましたらお願いいたします。

— 声なし —

○小林教育長

無いようですので、議案第14号可決することにご異議はありませんか。

— 「はい」の声 —

○小林教育長

では議案第14号は可決といたします。

(日程番号 9番 協議案)

1 教育委員の学校訪問について

1) 6月 日 ( )

時間 小学校 12時30分～ 14時00分

中学校 10時30分～ 12時20分

(本年も中学校にて給食試食の予定です)

笹木教育課長から記載のとおり日程を説明し、学校と協議しながら日時を調整すると説明した。

6月最終週の予定について、委員4名は25・28・29日が出席可能と確認した。26・27日は教育長・教育課長が上京し不在。

2 次期委員会について

笹木教育課長から時期がかなり先になるので近くなったら教育委員会事務局から案内し調整すると説明した。

各委員の8月の都合については、梅澤委員はお盆でも16時開催なら出席可能で、田丸委員は31日が出席不可と確認した。

3 その他

(1) 行事予定について 笹木教育課長から別紙により説明

○笹木教育課長

北空知管内市町教育委員研修会が今年度は秩父別町が当番となっておりますので、こちらの方もですね、あの日程等を調整しつつ内容も吟味しながら皆様方にもご案内させていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

○小林教育長

何かございますか。

○梅澤教育長職務代理者

時期的にはいつ頃か。教育委員の研修会、確か沼田は遅い時期ですよ。元々早かった。

○笹木教育課長

元々9月だったかと思います。それが、向こうの竣工が遅れて10月近くなっただかなと思うんですが。何れにせよ9月より遅くなると稲刈りの時期もございますし、我々もマラソン大会等ありますので、なるべく早い段階で開催はしたいと考えております。

○小林教育長

そうしたらこれもいいですか。そのあたりを睨みながらこれで予定したいと思います。

(2) 全国学力学習状況調査の公表について

○小林教育長

では、その他の二つ目、私の方から資料がこの別紙です。

教義第6652号平成29年7月30日付け文書ですね。これは去年のなんですけれども、道教委は今年も去年と同じような内容の文書が6月に出されるという情報が入ってございます。要はですね、道教委が学力学習状況調査の結果を市町村の承諾を取り付けた上で11月になるのですけれども、北海道版結果報告書という冊子にしてですね市町村に結果を公表したいという中身です。それで本町ではこの結果報告書については掲載することに際して同意をしてきていないという経過がございます。ただ諸般の事情からですね、やはりこれは公開しなくていけないのではないかなということで、このことについてこれからお話しします。

先程の別紙の上の方に書いてあるのですけれども、そちらの方と今の通知の一番後の部分、今の数値の一番最後です。秩父別町、秩父別町内中学校の状況及び学力向上の策、こういうペーパーです。これをちょっと見ていただくと分かるのですけれども、まず一つはですね、その教科全体の状況というところが、実は学力に係わることで、そこに各教科の状況が載っています。これを見ているとレーダーチャートという形でやっています、基本こういったフォーマットにのっけて示すといった教科全体の状況を示すっていうふうになっています。これはですね、数字では出ていないです。ただ、一番真ん中が60点になります、そして上の方に行くと100になります、というふうにして大体このぐらいかなっていうのは分かるのですけれども数字では出ており

ません。その隣にですね、生徒の質問、意思調査というのがありまして、例えば数学の授業内容わかりますかというような、あともう一つ子ども達にですね、アンケートの中身について五つぐらいありますけれど、そんなものを載っけたりとかしています。それから分析っていうのが一番下の方に載ってまして、ここにはその学力調査の傾向ですね、こんな傾向が見られます。

例えば、国語で言えば書くことが全国平均に最も近くなっている、そういったものですね。そんなことはこの程度。最後にですね、秩父別町の中学校の学力向上策について、例えば小・中学校に学習支援員を各1名配置し、ここにこうしたきめ細かな指導が充実していますよ。それから各種検定料補助ですね、タブレット端末の導入とかA L Tを継続配置していますよ。こんなことをですね、これぐらいの言葉で言うことなのです。

それでまず一つはですね、理由の一つに本町の子ども達の学力っていうのはどちらかというと全国平均に近い。また、それ以上の力を持っているような傾向から、これまでのことがありますんで高いのであればかえって載せた方がいいじゃないかというふうに思っております。多少、年度によって下がることもあるかもしれませんが、他の市町村に比べてもですね、学力が高いのかなと思っております。それから驚いたことにですね、この報告書に同意しないという市町村は179市町村中5町村しかないのですね。それで他の町村は管内ではうちだけです。他の町村はですね、新篠津村、仁木町、余市町、赤井川村ということで五つしかないですね。それから新聞での平均正答率公表というのは道外では管内図だけです。ですから空知管内は平均正答率なのだと思います。ただですね、秩父別の平均正答率についての公表はあくまでも町の判断に任されております。現在は、中学校、小学校の学校単位等による言葉によって子ども達の学力の状態を公開しているというふうに聞いています。ですから、数値で公開するかどうかについてはあくまでも町の判断に任されておりますので、それであれば、それとは別個にですね検討していくということで分けて考えていいかなと思っております。

それから、北海道版の結果報告書という冊子があるのですがけれども、ちょっと今手元に持ってきておりませんが、このぐらいの分厚い冊子なのです。それは市町村の委員会のみ配付なのです。それで、それを見るためには各学校に行かなくて委員会の方に来ていただいて、例えば情報公開の請求をしていただくとかいうことでしか見る方法はありませんので、見てもこれだけで学力が分かるという判断はおそらく少ないと思います。

一つ困っているのが、うちの場合小学校1、中学校1しかないの、町内の学校って書いてあるのですけれども、町内の中学校っていったら秩父別中学校しかありませんし、小学校っていったら1校しかないの学校を特定さ

れてしまうのですけれど、他の市町村は数が10校とか20校とか多いですから特定できないのですね。特定できないから非常にそのあたりの影響は少ないかと思うのですけども。うちは若干1校しかないので学校を特定されてしまいますけれど、特定されてもこういう状況であるということであれば、敢て私は載せませんというふうにしてやるのはどうなのかなということで、今年度については公開したいなというふうに思っています。この件について委員さん方からもご意見等あればお聞きしたいと思ったのですけれどもいかがでしょうか。

○梅澤教育長職務代理

いい時はいいのですけれど、あの生徒数非常に少ない。中学の1年生1人。

この場合悪くなった時には特定する学校はもちろん分かっていますけれど、人数、誰までは。

○小林教育長

えーと、人数は10人未満は出ません。載らないです。

○梅澤教育長職務代理

載らないの。

○小林教育長

載らないです。10人以上です。

○梅澤教育長職務代理

あ、そうなの。

○小林教育長

だから数の少ない1人とか8人とかは載りません。そういう条件が付いている。

○梅澤教育長職務代理

そういうのを心配して前の時には止めましょうということです。個人名までわかるというような話だった。

○小林教育長

おそらく勘違いされていたのじゃないかと思うんですね。私もこのペーパーを見たの教育委員会に来てからで、校長会では一切出てないペーパーだったんですけども、よくよく読んでみるとあくまでもそういった縛りあります。

10人未満は載せませんとかですね。縛りもありますし出てくるのもこれだけなので、これであれば問題ないかと思えますし、で、これ結論として条件付きって書いてあるのはそういった少人数であって先生方の指導云々いろいろなことを想定されているのですよ。これまでは並列掲載させてくっというイメージが強くあって、それは出ませんので、その判断は町でやることなので、それらについては十分話をしながらね。数値が全国平均よりちょっと5

ポイント少ないとかいう形の基本的にいいってことであれば、それらの分は継続してやっていけるかなと思う。ただ全道的な傾向からすると約7割から8割がすでに数字を出しています。

○梅澤教育長職務代理

そういうふうに聞いていたのですけれど、要するに個人名まで分かるのは出す必要がないという。

○小林教育長

はい、それは。

○梅澤教育長職務代理

充分分かっていることで、条件付きで出さないということですね。

○小林教育長

それはやっぱり教育的な配慮を欠くようなことなので、それについては委員会としても判断して今回のテストは。

○梅澤教育長職務代理

10名以下は出さない、出ないっていうのであればね。これまた私たちの考え方も変えなきゃいけない。

○小林教育長

それで先般ですね、5月25日、先週の金曜日に局の課長さんと次長さんが来られてどうでしょうかっていうのがあったのですよ。

毎年来るそうなのですからけれども、ただ、そのね、同意しませんという断り方の理由付けがどうされるか書いてあって向こうの方としても、なぜそういうふうにならないですよっていうようなことで、よく読み込んでみたら確かにそうなのですね。あくまでも最終的なそういったあれについては、委員会が判断すればいいことであるし少人数でする時には当然載りませんし、そういう時は全国と全道と学校の三つのグラフがあるのですけれども、さっき言った10人以下の学校は載りませんから。道と名前は出るのですけれども教科の平均正答率に係わる数字とか10人以下は消えちゃうんです。残るのは全国と全道と学校が出てくる。そういうようなお話しされておりました。

○梅澤教育長職務代理

では、なぜこんなこういう分かるようなことを5校だけ出したのか。

ものすごい、みんなすごいなと思って。

○小林教育長

最初は他の周りの市町村、1市5町の1回目はしていませんでした。公表していませんでした。ちょっと過去調べてみました。25年ぐらい。やってないです、みんな。ところが段々増えてって、昨年度が管内うちだけという状態。

ちょっとこれは、おそらく、あまりにも。考えてみてもね、どうして秩父

別はそんなに高いのに拒むかなあという感じで思っているようなところもありましたので。今回ちょっとそういう形で対応させていただきたいと思います。

#### ○南委員

教育長さんの方から説明がありましたので、その残り5町村ということでしたしかたないのかなあと思います。反対はしないのですが、この調査始まって7、8年。始まった時の子ども達の学力向上になるように、どこの市町村、学校で落ちているかというそこら辺を調べるっていうその原点が無くなって、平均点数どこの町村がいい、管内がいいっていうところにもあまりにも意識が行き過ぎているっていうことと、本町1町1校ということ、それから学年によってばらつきがあるということで1年前の教育委員さんで話し合っただけでずっと公表していなかった。そういう点も十分配慮いただいて、もし公表するのであれば進めていただきたいなど。保護者、地域の方には学校だよりとか文書で充分うちの子どもの様子、頑張っている様子、先生たちの取組、周知されていると思うんですよね。

ですが、そういう流れであれば、もう反対はできないのかなと思うのですけれど、十分配慮し、原点を。

#### ○小林教育長

あの、この調査始まった頃皆さん不安あって、あまり国も道もそういったことを強く言ってなかったのですけれども、段々やっぱりその説明責任ということで、議会で取り上げられていることですから、少しちょっと方向が変わってきたということがありまして、それで段々変わってきたのかな。あくまでも子ども達の今ある学力を把握して、それを日常の指導に生かすといったことに転化していかないと意味がない。数字が独り歩きしたりとか比べたりとか、そういった間違っただけの使い方したりとかそれを十分注意しながら私自身もそう思っておりますし、それは、もしそういう形で出て行くことがあれば、そこはストップしたいと思うし、先程から何回も言っておりますけれど数値ですね。数値については、まだまだ必要であって必要でないと思っております。ま、また何かあったらですね、その時点でご検討いただければと思っております。とりあえず何かそんなふうにして全道で5町村、他の町村はどうかわかりませんが、うちは今年度については、もちろん、これ毎年やっていますからその都度判断することも可能ですし、あとですね学力と体力っていうのもあって、スポーツありましてそちらの方も来るらしいのです。それもそういった判断でできれば出来たらと思っております。すみません。いろいろとお願いします。はい、ということで。

○梅澤教育長職務代理

載せるということで進めてください。

○小林教育長

はい。よろしく申し上げます。ありがとうございました。

○小林教育長

では、別件で全体を通して何か、お受けします。ありませんか。

— 「はい (ありません)」の声 —

○小林教育長

ありがとうございます。それでは第2回秩父別町教育委員会定例会をこれにて終了いたします。どうもありがとうございました。

午後4時56分閉会